

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立七沢森林公園

指定管理者 : (財)神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月29日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
11月	12月10日	12月27日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
12月	1月10日	1月21日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
1月	2月10日	2月28日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
2月	3月10日	3月28日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認
3月	4月10日	4月28日	現地確認及び月報等で概ね良好に業務が行われていたことを確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

<提案内容の概要>

総合的な管理運営方針として「丹沢山麓に連なる里山文化の創造」を大項目に掲げ、①県民に安らぎを与える、安全安心で快適な公園づくり。②持続可能な里山環境の保全と活用。③観光資源を活用した地域との連携による公園づくり。

等をかかげ安全で安心、ゴミゼロをめざした循環型の管理の実現を目指す。

また、「本公園の管理に向けた参加意欲及び抱負」については本公園の地域的な特性を踏まえ、地域の温泉や地域で推進している森林セラピーの実施のほか、地域産物を使用したロハスなバーベキュー推進等をかかげている。

<実施状況>

①この公園を管理運営して行く上で、最大な課題となっている。ヤマビルによる吸血被害を減少させるため、森林整備を積極的に進め、明るく風通しの良い環境整備に努めているほか、ヤマビルの棲みかとなっている、落ち葉の回収も進め安全安心な公園づくりに努めている。

②また、これらの目標を達成させるため、伐採木や落ち葉等を木炭や堆肥にするなど循環利用を行い持続可能な里山環境の保全と活用に努めている。

③観光資源を活用した地域との連携については、森林セラピーの実施により、地域温泉旅館との連携が進んでいる。

なお、地域の観光協会と連携して実施している、バーベキュー運営においては、平成22年度から行ったシステム改善の結果、前年比200%をこえる1万4千人を超える利用者があった。

3 収支状況（単位：円）注：円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	77,250	73,000	0	4,250	77,250	0
上半期計 (a)	41,037	38,166	0 (0)	2,871 (2,918)	37,641	3,396
下半期計 (b)	35,876	34,834	0 (0)	1,042 (1,164)	38,670	-2,794
10月	5,996	5,589		407 (476)	6,622	-626
11月	6,326	5,691		635 (688)	6,478	-152
12月	7,462	7,462			7,484	-22
1月	5,083	5,083			5,586	-503
2月	5,710	5,710			4,948	762
3月	5,299	5,299			7,550	-2,251
合計 (a+b)	76,913	73,000	0 (0)	3,913 (4,082)	76,311	602

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	「特になし」	
支出の状況	「特になし」	
積立等の状況	「特になし」	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	128,320人	135,598人	△5.4%
下半期計 (b)	129,311人	134,594人	△3.9%
10月	19,559人	24,919人	△21.5%
11月	45,362人	40,594人	11.7%
12月	17,559人	17,330人	1.3%
1月	16,645人	18,305人	△9.1%
2月	15,009人	14,180人	5.8%
3月	15,177人	19,266人	△21.2%
合計(a+b)	257,631人	270,192人	△4.6%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 年間を通して12,561人の減であった。5月のゴールデンウィークは天候に恵まれ、多くの来園者で賑わったが、秋の10月は、月末が雨にたたられ、3月は気温の低下、東北の地震の影響もあったのか利用者の足が鈍った。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	1					1
11月	2					2
12月						
1月						
2月						
3月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

〔 年間を通し、4件と苦情件数は少なく、その内容においても、公園の落葉が庭に飛んでくとか、ほんの小規模の施設が壊れているとか、アジサイが以前はきれいに咲いていたとかなどの苦情で、特筆すべき苦情はありません。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
2月6日	出会いの広場電話ボックス脇で電話帳と落葉の燃えた形跡を発見した。特に被害はなかったが、厚木署、県警鑑識課現場確認。警察にはパトロールの強化をお願いし、公園も日常パトロールをさらなる強化に努める。
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>安全で快適な環境のもと良い思い出を作るべき公園で、ヤマビルの吸血被害を受け、不快な感情を抱いて公園を後にする来園者がいる現状を改善すべく取り組んでいる。</p> <p>これまで、ヤマビルの棲みかとなっていた落ち葉については、園路外に吹き飛ばして処理していたが、本年度からは出来るだけ回収して落ち葉そのものを取り除く試みを行っている。</p> <p>また、木炭を製造する過程で発生する木酢液を散布することでヤマビルの駆除にも取り組み成果を上げている。</p>
施設所管課	<p>ヤマビル等の問題に積極的に取り組まれていることから一定の成果が上がっているため、引き続き積極的な取り組みをお願いしたい。また、日常の安全管理等が行き届いており、各種イベントを通し来園者には好印象を与えているため、今後ともより一層、来園者の増加を図るべく努力をしてほしい。</p>